

平成30（2018）年3月

軽自動車新車販売速報

平成30（2018）年4月2日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：堀井仁，略称：全軽自協）の調べによる平成30（2018）年3月の軽自動車新車販売台数（新車新規検査台数，トレーラー等を除くナンバーベース）は，全体で229,191台，前年同月比0.7%減となり，3ヵ月ぶりのマイナスとなりました。

車種別では，乗用車は183,626台で前年同月比1.1%減（3ヵ月ぶり減），貨物車は45,565台で同1.3%増（5ヵ月連続増）。貨物車の内訳は，ボンネットバン1,122台で前年同月比48.0%減（13ヵ月連続減），キャブオーバーバン23,756台で同8.7%増（12ヵ月連続増），トラック20,687台で同1.4%減（6ヵ月連続減）となっています。

この結果，平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）の新車販売台数は1,858,873台，前年度比8.1%増となり，4年ぶりのプラスとなりました。

年度販売台数の内訳は，乗用車が1,454,037台，前年度比8.7%増（4年ぶり増），貨物車は404,836台で同5.8%増（4年ぶり増）。貨物車の内訳は，ボンネットバン14,391台で同26.8%減（2年ぶり減），キャブオーバーバン209,463台で12.1%増（4年ぶり増），トラック180,982台で同2.8%増（4年ぶり増）となっています。

なお，全国軽自動車協会連合会では平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）の軽自動車新車販売予測台数を182万台（前年度比2.1%減）としました。